

## 平成25年度「文化庁日本語教育大会」実施要項

平成25年7月22日

文化庁文化部長決定

## 1 目的

日本語教育に関するシンポジウム及び報告会等を開催し、日本語教育に対する理解の増進を図り、もって、日本語教育の充実と推進に資する。

## 2 主催

文化庁

## 3 対象

- ・ ボランティア団体，NPO法人等の地域における日本語学習支援者
- ・ 大学・専修学校・各種学校，その他の日本語教育機関・施設の教職員・研究者
- ・ 地方自治体（教育委員会を含む。）や国際交流協会の日本語教育・国際交流・生涯学習・社会教育担当者
- ・ 小・中・高等学校等の教職員
- ・ 大学や大学院等で日本語教育について学んでいる学生
- ・ 外国人を雇用している事業関係者
- ・ 外国人住民及び日本語学習者
- ・ その他，日本語教育に関心を持つ者

## 4 概要

○開催日 : 平成25年8月30日（金），31日（土）

○会場 : 昭和女子大学（東京都世田谷区太子堂1-7）

○テーマ : 「地域日本語教育と住民の社会参加  
—地域における日本語教室の在り方を考える—」

地域における日本語教室が，様々な機関と連携する中で外国人のエンパワーメントに貢献し，地域に更なる活力をもたらす可能性について，パネルディスカッション等を通して考える。あわせて，「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案等のセットが完成したことを踏まえ，日本語教育小委員会における一連の成果物の報告，活用方法に向けた実践的なワークショップを行う。

○構成・内容 : 別紙のとおり

## ○ 構成・内容

(敬称略)

| 第1日目 8月30日(金)       |  |
|---------------------|--|
| 時間                  | 内容   |
| 10:00<br>～<br>12:00 | 地域における日本語教育協議会<br>※都道府県及び政令指定都市の日本語教育担当者等を対象とする。   |
| 12:00<br>～<br>13:00 | (昼食)   |
| 13:00<br>～<br>13:40 | 開催挨拶・基調講演<br>文化庁長官 青柳 正規(予定)   |
| 13:40<br>～<br>14:10 | 施策説明(文化庁・文部科学省)  |
| 14:10<br>～<br>14:30 | 文化審議会国語分科会日本語教育小委員会における審議状況の説明<br>「日本語教育の推進に向けた基本的な考え方と論点の整理について(報告)」の報告及び<br>「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案等の成果物に関する報告<br>説明者:伊東 祐郎氏<br>(文化審議会国語分科会日本語教育小委員会主査, 東京外国語大学教授・留学生日本語教育センター長)   |
| 14:30<br>～<br>15:00 | 「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案等を活用した取組の報告   |
| 15:00<br>～<br>15:15 | (休憩)   |
| 15:15<br>～<br>17:30 | パネルディスカッション<br>「地域日本語教育と住民の社会参加ー地域日本語教室の在り方を考えるー」<br>進行役:神吉 宇一氏(一般財団法人海外産業人材育成協会HIDA総合研究所日本語教育センター<br>上席日本語専門職 兼 日本語教育センター担当チーフコンサルタント)<br>パネリスト:<br>○山崎 亮氏 (京都造形芸術大学教授, コミュニティーデザイナー, 株式会社 studio-L 代表)<br>○山田 ロサリオ氏 (NPO法人日本ボリビア人協会代表)<br>○伊藤 美智代氏 (ひまわり21副代表, ワールド・キッズ・ネットワーク代表)<br>○福田 淳司氏 (北九州市総務企画局国際部国際政策課多文化共生係長)<br>○西川 寛之氏 (明海大学講師, 日本語教育学会) |

| 第2日目 8月31日(土)       |   |
|---------------------|---|
| 時間                  | 内容  |
| 10:00<br>～<br>12:00 | 「生活者としての外国人」のための日本語教育ワークショップ<br>第一分科会 「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案とは?<br>ー5点セット早分かり!ー<br>第二分科会 行動・体験中心の活動を考えようー教材例集を活用するためにー<br>第三分科会 私たちの日本語教室・日本語教育プログラムを点検してみよう!<br>ー指導力評価に関するチェックシートを活用してPDCAサイクルを回そうー |
| 12:00<br>～<br>13:30 | 平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 事例発表ポスターセッション   |
| 13:30<br>～<br>14:00 | 分科会・事例発表の成果共有・報告会 閉会  |
| 14:30<br>～<br>16:30 | 地域日本語教育コーディネーター研修受講者フォローアップ研修<br>※平成22-24年度の地域日本語教育コーディネーター研修の受講者を対象とする。  |



【開催日時】平成25年8月30日(金) / 31日(土)

【会場】昭和女子大学 (東京都世田谷区太子堂1-7)

参加費は不要です。直接会場にお越しください。

※当日、参加受付票を御提出いただきますので、御記入の上、御持参ください。

※31日(土)の分科会のみ事前の申込みが必要です。申込方法は文化庁ホームページを御覧ください。

地域における日本語教室が、様々な機関と連携する中で

外国人のエンパワーメントに貢献し、地域に更なる活力をもたらす可能性について、

事例報告やパネルディスカッションを通して考えます。

また、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案等についての

実践的なワークショップを行います。

#### 【1日目】

13:00 開催挨拶・基調講演

講演者：青柳 正規 (文化庁長官)

13:40 施策説明 (文化庁・文部科学省)

14:10 文化審議会国語分科会日本語教育小委員会における審議状況の説明

説明者：伊東 祐郎

(文化審議会国語分科会日本語教育小委員会主査、東京外国語大学教授・留学生日本語教育センター長)

14:30 「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案等を活用した取組の報告

15:00 休憩

15:15 パネルディスカッション

「地域日本語教育と住民の社会参加 ー地域日本語教室の在り方を考えるー」

進行役：神吉 宇一 (一般財団法人海外産業人材育成協会 HIDA 総合研究所日本語教育センター  
上席日本語専門職 兼 日本語教育センター担当チーフコンサルタント)

パネリスト：●山崎 亮 (京都造形芸術大学教授、コミュニティーデザイナー、株式会社 studio-L 代表)

●山田 ロサリオ (NPO法人日本ポリビア人協会代表)

●伊藤 美智代 (ひまわり21 副代表、ワールド・キッズ・ネットワーク代表)

●福田 淳司 (北九州市総務企画局国際部国際政策課多文化共生係長)

●西川 寛之 (明海大学講師、日本語教育学会)

17:30 終了

#### 【2日目】

10:00 「生活者としての外国人」のための日本語教育ワークショップ (各定員50名、先着順)

第一分科会 「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案とは？

ー5点セット早分かり！ー

●加藤 早苗 (日本語教育小委員会委員、インターカルト日本語学校校長)

第二分科会 行動・体験中心の活動を考えよう ー教材例集を活用するためにー

●米勢 治子 (東海日本語ネットワーク副代表、地域日本語教育コーディネーター研修講師)

●矢部 まゆみ (横浜国立大学留学生センター非常勤講師、地域日本語教育コーディネーター研修講師)

第三分科会 私たちの日本語教室・日本語教育プログラムを点検してみよう！

ー指導力評価に関するチェックシートを活用してPDCAサイクルを回そうー

●品田 潤子 (公益社団法人国際日本語普及協会所属教師、地域日本語教育コーディネーター研修講師)

12:00 平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

事例発表 ポスターセッション

13:30 分科会・事例発表の成果共有・報告会

14:00 閉会

※敬称略

【お問合せ】

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 旧文部省庁舎5階 文化庁文化語部国語課 電話:03(5253)4111(内線2840) FAX:03(6734)3818 nihongo@bunka.go.jp

文化庁ホームページ：<http://www.bunka.go.jp/> (平成25年度「文化庁日本語教育大会」の開催について)

# 平成25年度文化庁日本語教育大会

## 「テーマ」

### 地域日本語教育と住民の社会参加

#### ー地域における日本語教室の在り方を考えるー



【主催】  文化庁  
AGENCY FOR CULTURAL AFFAIRS



# 平成25年度文化庁日本語教育大会参加受付票

|  |          |         |         |         |            |          |   |   |
|--|----------|---------|---------|---------|------------|----------|---|---|
| 性別<br>(番号を○で囲んでください。)                  | 1 男性     | 2 女性    |         |         |            |          |   |   |
| 年齢<br>(番号を○で囲んでください。)                  | 1. 20歳未満 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 | 5. 50歳代    | 6. 60歳以上 |   |   |
| 現住所<br>(市区町村まで)                        | 都・道      |         | 府・県     |         | 市・区<br>町・村 |          |   |   |
| 所属する機関・団体名<br>(所属する機関・団体がない場合は空欄で結構です) | 〒        |         |         |         |            |          |   |   |
| 所属する機関・団体の所在地                          |          |         |         |         |            |          |   |   |
| 下記の分類から該当する番号を一つ選んで○で囲んでください。          | ①        | ②       | ③       | ④       | ⑤          | ⑥        | ⑦ | ⑧ |

(分類)

- ① ボランティア団体、NPO法人等の地域における日本語学習支援者
- ② 大学・専修学校・各種学校、その他の日本語教育機関・施設の教職員・研究者
- ③ 地方自治体（教育委員会を含む。）や国際交流協会の日本語教育・国際交流・生涯学習・社会教育担当者
- ④ 小・中・高等学校等の教職員
- ⑤ 大学や大学院等で日本語教育について学んでいる学生
- ⑥ 外国人を雇用している事業関係者
- ⑦ 外国人住民
- ⑧ その他、日本語教育に関心を持つ者

本受付票は、大会当日の受付の際に必要となります。

必ず一人一葉御持参ください。

留意点

- (1) 都合により、予告なくプログラムの内容や講師等を変更することがあります。
- (2) 開場は、開会の30分前です。
- (3) 当日、学内食堂及び学内売店は営業していません。また、会場内でのお食事はできませんので御了承ください。
- (4) 大学構内は禁煙ですので、御協力をお願いします。

**平成25年度文化庁日本語教育大会**  
**第2日目「生活者としての外国人」のための**  
**日本語教育ワークショップ 分科会参加申込書**

|  |  |
|--|--|
| 氏名                                     |  |
| 所属する機関・団体名<br>(所属する機関・団体がない場合は空欄で結構です) |  |
| 職業                                     |  |
| 現住所                                    |  |
| 連絡先(メール, 電話, 又はFAX)                    |  |
| 希望する分科会を一つ選んで( )内に○を入れてください。           | <p style="color: red;">※分科会は同じ時間帯に実施されます。複数の申込みはできませんので、御注意ください。</p> <p>( ) 第1分科会 (定員50名)<br/>「生活者としての外国人」に対する標準的なカリキュラム案とは?—5点セット早分かり!—</p> <p>( ) 第2分科会 (定員100名)<br/>行動・体験中心の活動を考えよう<br/>—教材例集を活用するために—</p> <p>( ) 第3分科会 (定員50名)<br/>私たちの日本語教室・日本語教育プログラムを点検してみよう!<br/>—指導力評価に関するチェックシートを活用してPDCAサイクルを回そう—</p> |
| 「カリキュラム案」等についてお答えください。                 | <p>( ) 使ったことがある</p> <p>( ) 知っている</p> <p>( ) 知らない</p>   |

**参加申込期限:平成25年8月16日(金)まで**

**参加申込方法:本用紙を文化庁国語課までメール又はFAXにてお送りください。**

**申込み・お問合せ:文化庁文化庁国語課**

メール nihongo@bunka.go.jp

FAX :03-6734-3818

電話 :03-5253-4111(内線2840)

※各分科会は定員になり次第締切りとさせていただきます。

※申込みが完了した方には受付番号を御連絡いたしますので、当日、受付で番号をお伝えください。



## 会場の所在地及び交通手段

### ■昭和女子大学（東京都世田谷区太子堂1-7）

◆地下鉄：東急田園都市線（半蔵門線直通）「三軒茶屋」駅下車 徒歩7分

◆バス：●渋谷駅から下記方面行きを利用し、「昭和女子大」下車  
 （上町・等々力・田園調布・弦巻営業所・二子玉川・高津営業所・成城学園・祖師谷大蔵・狛江・調布）  
 ●目黒駅・祐天寺駅から三軒茶屋行きを利用し、「三軒茶屋」下車  
 ●下北沢駅から駒沢陸橋行きを利用し、「三軒茶屋」下車

※自家用車での御来場は固くお断りします。

